

役員所感

副理事長 石田 剛史

昨年創立50周年を迎えた上越JCは、先輩諸兄の高い志を次代に受け継ぐべく「新たな半世紀への挑戦」への一歩を踏み出します。時代が変わろうとも、社会情勢が変わろうとも「明るい豊かな社会」の実現に向け確かな歩みを進めて行くためには、メンバー一人ひとりの心の在り方が重要となります。如何なる時も自らの行動に責任を持ち仲間と共に能動的な行動を取る確かな実行力が、JAYCEEとして身に付けるべき資質であります。

まずは、このJCという組織を理解し学ぶことと同様に、興味を持ち組織の一員として楽しむ気持ちを持つことが継続的な運動をする活力となり、JCの魅力を早く知るための近道になります。その為には、参加したどんな活動においても1つでも多くの学びを会社や家族で話し伝えることが重要であり、その結果として、JC活動に多く参加できる環境が築かれ、身近な理解者を増やすことにもつながります。そして、一人でも多くのメンバーが互いの事業に参加し合うことで、メンバー同士の交流の輪が広がり、心のつながりを強め、共感を生み尊重し合える関係「信頼関係」を築くことができます。このつながりを大切にする気持ちと「JCで何をするか」だけでなく、「JCでどう成長するか」を意識づけすることで、先輩諸兄から受継いだ高い志を次世代へと継承できる人財へと成長させる原動力となり、上越JCの主役であるという気概を持ったJAYCEEを多く生み出す組織となるはずです。メンバーが手を取り合い切磋琢磨し同じ目標に向かって行動をとることが、地域からの負託と信頼に応え、地域に必要とされる組織へと昇華すると考えます。

JCが実社会の中にある事を忘れることなく、日頃から活動を支えて頂ける家族や会社の方々に対する感謝の念を常に持ちながら、JC活動で学び得た「奉仕」「修練」「友情」の3信条を実社会で体現することで、この地域を明るい豊かな社会へと導いて参ります。